

## 2024 年度第 3 回理事会 議事録

1. 日 時 2024 年 11 月 1 日（金）13:00～17:00
2. 場 所 日本コンクリート工学会 会議室 11 階「第 5 会議室」13:00～17:00
3. 参加者 橋高会長，小野副会長，原田副会長，森企画部会部会長，山川企画部会副部会長，  
井田財務部会部会長，牧野財務部会副部会長，古川技術部会部会長，内川技術部会副部会長，  
天野広報部会部会長，有山広報部会副部会長，奈良会員部会部会長，竹内会員部会副部会長，  
鶴巻監事，南監事，林特別顧問  
事務局：齋田 以上 17 名  
（欠席 竹内総務部会部会長，岡崎総務部会副部会長，奥村技術部会副部会長 鶴石企画部  
会副部会長 以上 4 名）

### 4. 資料（別紙参照）

資料 令和 6 年第 3 回理事会（11 月 1 日）資料（議題）

### 5. 議題

- (1) 2024 年度上半期の事業実績について
- (2) 2024 年度下半期の活動計画について

#### 5.1 各部会の 2024 年度の上半期事業実績および下半期の活動計画について

##### 【総務部会】 全て承認

- 1, 2024 年度総務部会の上半期事業実績
- 2, 2024 年度総務部会の下半期活動計画
- 3, 2025 年度（第 16 回）定時社員総会の計画について

##### (1) 第 16 回定時社員総会は以下のとおり開催したい

日時：2025 年 5 月 23 日金曜日 13:15～14:10（受付 13:00 から開始）

場所：ウイंकあいち（愛知県産業労働センター）

開催方法：ハイブリッドによる開催（ZOOM により会員に配信する）

会場での参加を基本とし、来場できない会員は委任状により決議をとる

→齋田が 11 月 3 日に予約済

参加方法は今期と同じハイブリッドにて開催とするが基本は会場参加

来場できない方は委任状を頂き決をとる

##### (2) 報告について以下の通り実施したい

1) 会員数等報

2) 各地区コンクリート診断士会の活動報告

##### (3) 特別講演について以下の通り実施したい

講師（案）：公益社団法人日本コンクリート工学会 副会長

岐阜大学 特任教授 内田裕市 様 (3) 定時社員総会後の催しについての検討

→齋田も岐阜大学 ME にて面識がある。問題なくお願いできるのではないか。

【企画部会】 全て承認

- 1, 令和 6 年度 企画部会の上半期の事業実績
- 2, 令和 6 年度 企画部会の下半期の事業計画

(2) 日本コンクリート工学会との意見交換会の開催 (令和 7 年 3 月を予定)

→意見交換会は今回の 11 月と令和 7 年 3 月に JCI 本部にて行う予定

3 月 21 日 (金) としたい

3 月 21 日 (金) を JCI 佐藤課長にその場で予約して頂いたく。後から確認してもら  
う。前川会長や矢入専務理事にも参加をお願い。(本日、後からの意見交換会で前川会  
長に参加をお願いした)

【財務部会】 全て承認

- 1, 上半期事業実績

9 月末時点における財務状況を把握するために、総勘定元帳等の資料を確認し、中間決算  
を行った。

- 2, 財務の現況と収支予測について

→次年度への繰越金予測が約 312 万円となる。昨年度 444 万円より約 130 万円少ない。理事  
の理事会参加などで経費を使用するためである

- 3, 下半期事業計画

→JCD2024 年次大会 (青森大会) の収支を事務局より報告されていないのでその確認をする  
2024 年度は理事の理事会参加費を計上したが、3 月に見直しのため事務局と連携して報告  
する

【技術部会】 全て承認

- 1, 令和 6 年度 技術部会の上半期の事業実績

(1) 2024 年次大会 (青森) の開催準備

→奈良理事に会場手配などを全てお願いしていて、ありがとうございました。

今回、優秀発表者を表彰した (保有技術 1 題、業務体験 3 題) が表彰状を準備してお  
渡しした 今後も継続していきたい

(2) 2024 年次大会 (青森) の開催 (令和 6 年 10 月 10 日 : 青森県)

→Wi-Fi の不具合があったが、滞りなく終了した。

今後は、会場に Wi-Fi 等のネット環境があるかどうかの確認をする

→次回 JCD2025 年次大会は島根県で内諾済だが、島根県コンクリート診断士の 20 周  
年と同時開催のため、プログラムの検討が必要 (午前に JCD 大会で午後に 20 周年記  
念を検討)

→JCD2025 年次大会の日程は、10 月 9 日 (大会) と 10 日 (現場見学会) としたい

理由は、11 月は出雲大社が神在月となり参拝者が多くなるためホテル予約できない可  
能性があるため (井田理事より)

## 2, 令和6年度 技術部会の下半期の事業計画

### (1) 2024 年次大会（青森）の活動報告（「コンクリート工学」への投稿）

→技術部会と事務局へは確認メール済

写真などを入れると JCD のアピールになるのではないか

全員写真、表彰写真、懇親会写真などの掲載 齋田に写真をお送りください

→頁数は2~8 のことですので、全回までの2 頁にこだわらなくてよい

偶数頁がいいのでは 盛り沢山は大いに結構だと思います

→JCD の「コンクリート工学」誌の枠があればとのことでしたが、(JCI によると) ある団体に優先的に頁を与えることはしないとのこと、JCD は「情報発信」として投稿する

→優秀発表者へ「コンクリート工学」誌への投稿の促しがまだすすんでないので促しをする

→12 月に八戸工大の阿波教授による「橋梁メンテナンス体験施設」についての投稿を「コンクリート工学」誌にするとのこと、業務体験発表の優秀賞で表彰された音道様とダブルが、奈良理事から問題ないとのこと

## 【広報部会】 全て承認

### 1, 2024 年度 広報部会の上半期の事業実績

#### (1) かわら版の作成（2024 年 4 月・7 月・10 月→11 月とした）

→次号の 34 号はかわら版予定表を参照して頂き、「巻頭言」は古川技術部会部会長、「地区の会の活動紹介」は京滋診断士会、「その他」は JCD 年次大会優秀者発表で技術部会です。

#### (3) JCI 年次大会でのパンフレット配布

→松山大会では 200 名程度の参加でした。残りのパンフレットは次回に 2025 年度以降も配布する

### 2, 2024 年度 広報部会の下半期の予定

## 【会員部会】 全て承認

### 1. 会員部会 2024 年度 上半期活動報告及び下半期活動計画

#### (上半期活動報告)

・各地区の診断士会への加入のための PR 活動の支援

法人会員の加入促進のための PR 活動

JCI 年次大会において、日本コンクリート診断士会のパンフレットを配布しました。

→2024 度は生コンセミナーが 600 名出席でコンクリート構造物セミナーは 201 名と少なかった

#### (下半期活動計画)

・「法人会員の登録可能人数の上限に満たない法人会員への PR 活動」として、再度下半期にお願いのメールを差し上げることにしたい。

- ・未加入の地区診断士会の加入促進活動として、かわら版を未加入の地区診断士会へ送付することにした。

## 2. JCI 入矢専務理事との意見交換会での要望事項（案として）

- ・できないとは思いますが、コンクリート診断士の方々の名簿は、頂けないでしょうか  
→佐藤課長から、個人情報保護法の観点から無理とのこと

### 会員部会のその他

- JCI2025（盛岡）コンクリート構造物診断セミナー（案）と実行委員会名簿を提示した
- （小野副会長）全体的に東北大学との関係が多く感じる

### 【JCD 事務局より】 全て承認

- 1, 会員証の発行について  
→・2024 年度は、76 枚発行しています
- 2, 日本コンクリート診断士会の新ホームページ（新 HP）について
- 3, 年次大会について（技術部会と連携）  
→課題 1：発表者申込を Google フォームで  
→課題 2：会場のネット環境の確認

### （報告事項）

#### ②③JCD 年次大会 開催予定表による

- 4, かわら版  
→新技術や保有技術などの応募が少ないのが悩み
- 5, 2025 年度の定時社員総会について  
→総務部会と連携  
2025 年 5 月 23 日（金）にウイंकあいちを予約済
- 6, 2024 年度第 4 回理事会（12 月 Zoom 開催）について  
→議事があれば開催すること。議事が無ければ開催無しでもよい

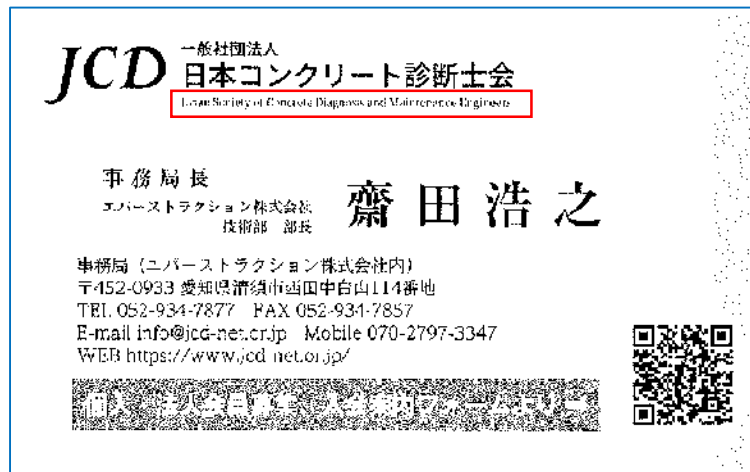
## 7, その他

### (1) JCD の名刺の作成

- 作成様は、名刺が無くなったらご報告してください 作成します
- (小野副会長から) 名刺の頭の英語表記がおかしいので変更をお願いしたい  
以前は、この英語名でなかった。どこで変わったのか？

「Japan Society of Concrete Diagnosis and Maintenance Engineers」

- ➡ 「Japan Society of Concrete Diagnosis」に変更することとしていましたが、  
後日に小野副会長からの情報があり、JCI 佐藤課長に確認したところ、英文名称は  
正式ではなく通称のままの使用とのことです。そのため、「Japan Society of  
Concrete Diagnosis and Maintenance Engineers」をこのまま使用します。



## 6. JCI（前川会長）と JCD の意見交換会 15：30～

JCI 参加者（前川会長、渡邊事務局長、佐藤課長、戸口課長） 欠席（入矢専務理事）

### （1）橘高会長の挨拶

→JCD はコンクリート診断士の集まり。各地区に診断士会があり、JCD はそれをまとめているプラットフォームです。本日は、理事の皆様に来ていただいておりますが、コンクリート診断士の知名度を上げて仕事が欲しいというところが本音です。そのためには、国土交通省の仕様書（示方書）などに診断士を入れたいとかなどですが、是非、コンクリート工学会にご相談させて頂きたいです。本日は宜しくお願い致します。

### （2）事務局齋から JCD の説明

- ・ JCD の現状の会員数 → 現在、合計 1612 名
- ・ 活動内容説明

### （3）JCI（前川会長）から（以下、箇条書きとします）

- ・ 7～8 年前に、その時の会長が「ロードマップ」を作成している。新型コロナの影響が 3 年ありましたが、2030 年を目途に、再度、「ロードマップ」を作って 1 年ぐらい議論したいとしました。
- ・ 収益事業として「資格事業」は重要としており、審議を始めている。
- ・ 前回の JCI 理事会でも、受験者数がだんだん減ってきていて、どういう状況であるかを検討している。
- ・ 専務理事も含めて、この資格が社会で使われるということで、技術の実装が進む。
- ・ ちょうど、国土交通省の次長が代わられたこともあって、挨拶に行きました。その際に「資格制度」の話をした。
- ・ 監理技術者というよりも担当技術者という形にしているが、この業界の中では最も難しい資格（偏差値 60 以上）の試験であって、高度であることは次長も理解している。
- ・ この資格を、各地整もうまく使いたいということも上がってくる。
- ・ 診断士会のところで書いてあるように、詳細技術者・監理技術者・担当技術者としているが、国土交通省は、そういうように受け取ってない。
- ・ 他の資格があって、RCCM との関係もあるが、診断士と RCCM には重なるところがなくて、むしろカバーできなところが多い。
- ・ 発注関係は、権限が地方整備局にあるので、私（会長）と専務とすべての地方整備局を回ろうと。
- ・ すでに専務は、北陸地方整備局を回っています。11 月 7 日には関東地方整備局を回ります。
- ・ 私（前川会長）は、新潟で別の会があり、地整の企画課長や新潟顧問の丸山先生に会います。
- ・ 実際の発注業務に対しての本音を聞いて来ようと思っています。この資格をどういう形で使われていたのかいなかったのか？を聞こうと思います。
- ・ 国土交通省の次長も、各地勢の状況を把握できていないそうです。
- ・ ほんとに現場に行って、本当のところを抑えておかないといけない。そうしないと机上の空論となりがねない。（各地整を回ると今年いっぱいかかる）
- ・ 地方整備局の方で、発注業務にこういう風に使いたいとか、こう使えるとかはあるのだが、相互

には情報交換していないそうです。（ここのところは本省の話だと思うのだが・・・）

- ・我々の方（JCI など）からプランを出すのがよい。
- ・私（前川会長）は、8 年ほど、コンクリートの施工関係の生産施工上の協議会の会長をしていたこともあります。その協議会には議題にあげたいと思っています。
- ・次長には、できるだけ「診断士会」というワードを上げていくということをしたい。地方も。
- ・地方のところから話を持っていくところで、地方整備局を全部回って本省にもっていくといい感じなところがあったので、それをやってみよう。
- ・この診断士資格がかなり高レベルなところにあるので、少なくとも 1 級建築士とか宅建とかと同じくらいに難しい。そういうレベルであることは承知している。
- ・しかしながら、どうこの資格を使うかというところは地方整備局に任せている。
- ・着任されたばかりの次長へのお話としてはこの診断士資格の話をしてもいいのかなと感じます。
- ・今後は、フィードバックをしていく。
- ・今までもいろいろと地方で発注者、あるいは施主の方とコンタクトされているかと思いますが、行く前に、こんな情報があることを持っていけるといいんかなと思います。本日は、このことをお願いに来ました。
- ・地方整備局などは、資格関係は重要なことは理解しているが、それをどう活用できるかが分かっていない。
- ・他の資格との関係の特徴を言われた。それを言われると JCI もラッキーなところである。
- ・発注者がこの診断士資格を持って欲しい。現在、10 人に 1 名くらいしか取得していないようであるが・・・佐藤課長に確認したら、もっと低いそうです。ゼネコンの方は多いが、官庁の方は少ない。
- ・他の資格では、官庁の方は退職した後、何とかの資格を取りに行くそうです。その後に、資格があったら発注業務のところと契約が結べるからみたいです。自分で会社を興したら仕事ができる。
- ・出来る官庁を退職された方は、この資格を取ってくれる。これはいい形である。
- ・以前、神戸市で退職された方が資格を取って、仕事をするということがあった。高知市も同じような事柄があったと思う。インスペクション（調査）だけです。
- ・高知県の若い知事さんの時に、このような退職者の活用をしていたそうです。
- ・最貧県で、調査等を使用とした場合に、退職者と上手く連携できたようです。
- ・以上のようなことがあったので、各地方整備局等を回ってみようと思います。
- ・今回、JCD 理事様が来られているので、こんな風に攻めていったらどうかなどのご意見があればお願いいたします。
- ・入谷専務理事が、対面でお話すると、顔の表情などが分かるので、各地方整備局を回ってみた良いと考えました。
- ・官僚に物申す場合は、どれだけ動いて汗かいたかを見せる必要がある。
- ・官僚で文句を言う方たちは、考えてくれる方々で非常に良いと考えている。
- ・プランが欲しいイメージで、その時にこの診断士資格は非常に難しい資格試験であることはわかっている。彼ら（官僚）にとっては差別化になる。この試験のレベルを下げるのは最悪である

と感じた。

- ・少し試験のレベルを下げるのであれば「コンクリート診断士補」でしょう。事務局に叱られるかもしれませんが。
- ・PRは大事で「日経コンストラクション」へ記事を投稿しようかと思っています。官僚はコンクリート工学誌なんか見ないです。日経コンストラクションは見てるので。
- ・日本コンクリート診断士会のことが日経コンストラクションに記事になったことがありますか？ ないですか？
- ・インタビューとかして記事にしてもらうなどの、記事のプランを投稿することをするとよい。
- ・インタビューされる方はいいネタを探しているので、コンクリート診断士の歴史からお話して、会長や各地区診断士会の方のインタビューをして頂くとかのプランを投稿すると良いのではないかな。
- ・日経コンストラクションというメディアを使うのはいいかなと思っています。
- ・日経コンストラクションというメディアを使うということをご検討して頂きたいです。JCI事務局が文句を言っても、個人で対応可能であるので。
- ・記事を書くのは、ライターですので、公益社団法人という枠からはずれるので問題無くなる。
- ・公益法人としては、他の法人に関することをオフィシャルに明示することは法律でできないので、苦しい所です。一般社団法人でないの。企業も同じですが、子会社化すればできる。
- ・他の現場事務所などにいくと、日経コンストラクションだけは見ている。日経コンストラクションに載せてもらえば大変よいPRになる。
- ・日経コンストラクションへの投稿は負担にならない。インタビューして書くのはライターなので。
- ・他の方々は努力されていて、どうも記事を持ち込んでいるようですので、その努力ぐらいはしないといけないと思います。
- ・RCCMなどどこが違うのかの説明ができて、コンクリート診断士資格がわかり非常に良い。  
(この工事にはRCCMが使えず診断士だとかがわかる)

前川会長からのお話は以上でした。

(4) JCI との意見交換会【回答は、入矢専務理事から】

(質問 1) コンクリート診断士試験制度や診断士活用を JCI はどう考えておられるのか？

→現在、コンクリート診断士試験は技術士試験より難しいといわれてきているが、  
入札時の資格者条件（要件）へのアプローチとかはしておられるのかどうか？  
(JCI は圧力団体ではないことは理解していますが)

→今年、静岡で仕事に直接役に立たないという理由にて、資格更新をしないで診断士会を退会された事例がありました。このままだと、同じ様な事が起きる事を懸念しております。特に、橋梁点検等の入札では診断士と RCCM が同等の扱いとなっており、コンサルタント会社は RCCM の方が資格取得が簡単なので、診断士に重点を置いていない事を聞いた事があります。

(回答 1)

これから各地方整備局へアプローチしていきます。  
11 月 7 日（木）に関東整備局にアプローチします。  
PR します。  
結果については後日、ご報告します。

(質問 2) コンクリート診断士の資格更新制度（今後も e ラーニング？）

→私も以前更新をしましたが、コンクリート診断を業務で行っている方は回答が出来たと思います。診断業務をしていない方は難しいと言われていました。  
ペーパーの資格になってはいけなないのでこれぐらいの更新問題は解けるようにとの意図があると思っていますが、もう少し簡単にならないかと。  
→今後も e ラーニング実施でしょうか？もし対面実施もあり得るのであれば JCD の PR のためパンフレットの配布を許可をお願いしたい。

(回答 2)

更新講習は難しいとは思っていませんが、国土交通省に対して、管理技術者として他の資格より、より優位であることを PR する以上、内容のレベルを下げることはしません。それよりも継続学習制度 CPD などを導入して、他の資格より研修でもより上位である、上位を維持している資格であることの PR を考えている、考えてみたい。受験者、発注者共に他の資格との差別化を考え、PR として受験者を確保しないといけない時期にきましたので、これについても先ほど前川会長がいわれていた「コンクリート診断士補」の新設も考える時期でもあるが、試験を作成するための負荷がかかると思うので、迷うところもあります。

(質問3) コンクリート工学誌で「コンクリート診断士会の粋みたいなものがないで  
しょうか？(特集)」

→JCD 年次大会の情報、各地区診断士会の情報などの粋  
JCD 年次大会の情報発信としての投稿はしています。

「コンクリート工学」誌には「コンクリート診断士のページ」がありますが、合格者した方  
の診断士の活用や診断士取得して良かったことなどの投稿ですので、JCDの情報として  
は少し違うかなと思いますが。(ただし、取得したい方にはよい情報だと思います)

→JCD 年次大会の実施の概要について「コンクリート工学」誌の情報発信コーナー等に毎年  
報告したいので、粋を頂きたい。

(回答3)

JCI が公益社団法人であることから、特定法人への利益供与は禁止されています。したがっ  
てJCD のページを作ることではできませんが、診断士会に属している診断士の報告を情報発  
信として報告することは可能です。

(質問4) コンクリート診断士資格受験者が減ってきているが何か手立てはありますか？

→従来から言われている入札時の資格者条件などにもっと活用できればと思います。例えば、  
RCCM 資格は技術士資格の補完資格みたいになっておりますが、コンクリート診断士はコ  
ンクリート診断等に関しては技術士以上に価値があると思います。入札時の資格者条件な  
どの活用が進めば、コンクリート診断士受験者が増えると考えますが。

(回答4)

活用方法ですが、先ほど前川会長から日経コンストラクションへ書かせたりしたらどうか  
等、SNS で発信したらどうか等ですが、JCI は公益社団法人ですので、派手なことはできま  
せんが、診断士会であれば自由度が大きいので、メディアへのPR も有効ではないかと思い  
ます。

(質問5) コンクリート工学年次大会では、2023 年と 2024 年にコンクリート構造診断セミナーの会場  
でJCD のパンフレット配布を手渡しで行いました。(一社)コンクリート診断士会(JCD)  
をもっとアピールし入会していただけるようにと思いますがなかなか入会者が少ないので、  
よい方策があればお願いいたします。

→例えば診断士合格者には郵送される封筒にJCD への入会案内を入れることはできないでし  
ょうか？

確か、コンクリート工学会への入会案内は入っていたと記憶していますが。

(JCD はあくまでプラットフォームであり情報共有の場として活用できます)

→日本コンクリート診断士会に診断士の方を加入させたいと思っても、診断士の方々の名簿  
は個人情報規制法により、開示できないと聞いておりますので、日本コンクリート診断士会

の PR が出来ないでおります。そこで、診断士に合格された方々に、JIC から郵便物を送付する際に、日本コンクリート診断士会のパンフレットなどを一緒に送付できないかどうかをお聞きしたい。

→パンフレットを配布させて頂けるのは大変ありがたい事ですが、現状、全て手弁当での参加となっております。せめて、大会への参加について数名 JCI から招待頂けると費用負担が楽になり、助かると思います。

→パンフレットの配布は、毎年の恒例行事としたいが。

**(回答 5)**

コンクリート診断士取得者の情報、個人情報ですが、個人情報の扱いは厳しく提供するの  
は難しいです。JCD 年次大会への招待なども難しいです。ただ、パンフレット程度の配布  
は問題ないです。

**(質問 6) コンクリート診断士だけではないのですが、コンクリート工学会の講習などに参加した場合の  
CPD の申請が面倒です。CPD に自身で記入して郵送となっています。なんとか簡単になり  
ませんか？**

→郵送しなくても良いシステムとなりませんか？

**(回答 6)**

ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。

JCI は CPD の認定を受けていません。入矢専務理事個人の考えですが CPD の導入は行いた  
いと思います。なぜか JCI は CPD 協議会に創設当時から参加しているにもかかわらず CPD  
制度を導入していません。また、すべての外部からの申請業務においてデジタル化という外部  
との接続が間に合っていないので、随時改善したいと思っています。

以上ですが、JCI の方針ではございませんが、入矢専務理事の回答でした。

# 資 料

JCI（前川会長）との意見交換会 補足

資料として議事録に入れますが、参考としてください。

## その他の JCD 理事からの質問事項など

### (森企画部会部会長：富山県コンクリート診断士会会長から)

いろんなところ（各地整など）宣伝しないといけないし、それをしないと理解していただけない。私たちが行くのと前川会長が行くのとでは影響力が違うので、お願いいたします。

富山県の場合は、北陸地方整備局ですが（前川会長は新潟へ行かれる）事務所長や担当官がおられるので、できればそちらの方へ行ってもらったほうがいいかなと思います。その上で、課長の方もその席に呼んでもらって、PR した方が話しが早いのかなと思います。所長室に皆さんを呼んでもらって説明した方が理解されるのかなと思います。前川会長のその場で思いとか語気とかで伝わるのかなと思います。国土交通省に対してはそうに思います。

都道府県までそれ（PR）をするのは大変だと思いますが、その事例を情報として私たちに何か書いたもの、通達とかがあると地方も動きやすいのかなと思います。

また、メディアで日経コンストラクションに書かせる件ですが、やって頂きたいと思います。逆に JCD 年次大会をする時に、日経コンストラクションに取材依頼すれば PR ができると思いました。診断技術だけではなく、新技術情報も共有していることも PR できると思いました。

### (山川企画部会副部会長：福井県コンクリート診断士会会長から)

ご意見等、ありがとうございました。

日経コンストラクションなどへの投稿は考えが無かったです。よいヒントを頂けたと思います。

いろんな業界紙とかでは取り上げられたことはありますし、各地区診断士会もその地区でも橋梁新聞などで取り上げられてはいますが、なかなかうまく PR できません。そういった点を踏まえると日経コンストラクションへの投稿はよい考えだなと思いました。

各地整へ PR に行かれる件ですが、福井県で取組んでいる事例ですと、各都道府県に道路メンテナンス会議があります。そういうところが機能している県としていない県がありますが、福井県は技術支援協定をしていて活動を活発にしています。発注者も診断士会に参加されているところから活動も活発になって情報交換もできて、皆さんの仕事へ繋げています。各地整へって道路メンテナンス会議を活用して頂きたいことをお話いただけたらと思います。

→前川会長から：道路メンテナンス会議は、毎年総会で多くの県の方が参加されていて、そこが狙い目ですね。昨年の総会は新潟でした。長岡技術科学大学の丸山久一先生が音頭をとっています。11月1日に丸山先生や県の土木の方に会うのでお話ししたいと思います。2025 年も会議があるのでお話ししようと思います。

### (奈良会員部会部会長：青森県コンクリート診断士会会長から)

今年は青森県で JCD 年次大会を開催しました。その時点でコンクリート新聞が取材に来ていまして青森県と JCD の特集を組んで頂きました。また、セメント新聞社も取材されました。このような業界団体では JCD は知られていますが、日経コンストラクションへの投稿はいい案だなと思いました。SNS で情報発信は民間の団体ですので、いくらでもできる訳です。情報発信していくことですが、HP もありますが、見る人がいないと役にたたない。発信型がいいと思いました。

### (竹内一博会員部会副部会長：NPO 法人大分県コンクリート診断士会副理事長)

大分県では、診断士会を NPO 法人化しております。また、日本技術士会の九州本部の下の大分県支部もあり、両方に所属して活動しています。技術士会の大分県支部では県の OB の方が多く入られています。20 年くらい前は大分県の方は技術士をもっている方が少なく興味がなかったようですが、そのうち、県の中で技術士を取ろうというようになって増えています。ここ数年は、大分県支部の支部長は県の土木建築部長をされた方です。その支部の幹事の半分が県の方で、あと半分は民間の方です。魅力があると感じます。ただ、診断士会となると県の OB が 1 名いるだけで、あとは民間の方々です。この差は何だろうと感じます。(その差を埋めたいですね-前川会長-) 両方の資格は難しい資格と言われていて、日経コンストラクションでも若い技術者が取得したい資格であり、数年前までは、トップが技術士で、次がコンクリート診断士であった。今でもそのように感じますが、若い技術者に診断士の魅力、資格のメリットを発信でいけばよいと思います。技術士は建設コンサルタントをする場合は必須の資格であり、引退してからもその資格を活かして給与を得ることができる。県の OB の方も建設コンサルタントで活躍されていてそれなりの給与を得ている。(年金+給与でそこそこよい生活ができています) しかし、診断士にはない。(そのルートに診断士も乗せられると診断士資格を取得する意味がある。今後も診断の仕事は減ることはないので取得の意味があるというところ-前川会長-) 技術士のような仕組みができればと思います。前川会長、宜しくお願い致します。(診断士を人生設計の中に組み込めるようにしたいという思いがある-前川会長-)

**(井田財務部会部会長：島根県コンクリート診断士会理事から)**

国土交通省に対しての民間資格の登録ですが、引き続き他の部門の登録もやって頂けるのでしょうか？(はい。-前川会長-) 増えてないように感じますが。(JCI の部会で審査項目を検討して審査書を添えて提出しています。提出する場合にそれに長けている方に入って頂き書類を提出している。今後とも続けていきます。ボックスカルバート部門が入った。港湾技術者という国の資格があるため港湾部門は難しい。-佐藤課長) 宜しくお願い致します。

**(JCI 資格議場部：佐藤課長から)**

皆様にお世話になっていて、ありがとうございます。前川会長と入矢専務理事が日経コンストラクションを重要視していますが、日経コンストラクションにも先方からきたら JCI も情報を提供するような関係を気付いている。浅野編集長とは年に何度もやり取りしていて、いい切り口があればと。前回の診断士の特集ではたいへんアプローチをさせて頂いていて、情報提供をかなり深くしました。新聞社にもコンクリート技士・主任技士、診断士の資格について有利な所を載せていただきました。そういったところで新聞社の活用とかというのは、JCI としては資料の提供をしています。表が欲しいみたいです。JCI として提供できる資料は限られているのですが、会長と専務理事の了承を得て提供しているが、そのところを JCD とコラボして出しませんか。そのあたりのアピールは何か提供頂ければさせて頂いて、新聞社と競合していい記事を今後も作って頂きたいと思っています。

**(牧野財務部会部会長：東海コンクリート診断士会会長から)**

実務的な話ですが、橋梁点検についてですが、笹子トンネル天井板落下事故(2012 年 12 月 2 日)から 12 年ですが、橋梁点検が 3 巡目に入ります。今回、点検要領が改訂されて、レベルが高いものが求められます。国の直轄の要領が変わったのですが、市町が点検する点検要領も国が技術的助言版という形で作成してきて、それもレベルが高くなった。その点検なんですが、これまでは現状だけを把握して健全性を評価してきたのですが、新しい要領だと、今後 5 年間の劣化予測をして診断しな

いといけないことになっています。我々診断士の期待が大きくなってははずなので、各地勢に行かれた時には診断士が活躍する準備ができていますと PR して欲しいです。

（この話は、国土交通省の予防保全、予防保全するためには予測がないと有り得ないです。予防保全をしないと構造物はもたないということがわかってきたということです-前川会長-）

もう一つ、点検のバラツキがあります。過去 2 回点検をしてきて見る人（点検する人）によって判定の差が大きい。国土交通省がフォーマットを決めている。地震活荷重を考慮して上部工・下部工・支承・その他についてどうなのかということを評価しなさいということフォーマットに記載しないといけない。知識が無い人は評価できない。建設された年代とか構造的特性とか外的な荷重に対して今の橋が、機能が、耐火性能とか耐震性のとかが今後 5 年間で上部かどうかを評価しないといけない。これまで劣化しているかどうかだけを見る点検ではなくて診断に重きを置かれるので、診断士でないと出来ないような業務になっている。（各地整への攻めどころですね-前川会長-）

#### （森企画部会部会長から）

診断士でないと書けないことを点検で求められていて、診断士でない点検士が診断して誰が責任を持つのが不明です。この新しいフォーマットは、誰が診断するのかを考えていないみたいです。診断士でなくても評価していいとなると診断士の価値が無くなると思います。そういったところで診断士の名前や診断士番号等を記載することになると、俄然、診断士の価値があると思います。

そのところを前川会長には各地整に責めて頂きたいと思います。

#### （前川会長から）

民間ではあるが鉄道、高速道路、エネルギーといったところで何か関係はお持ちでしょうか？

そういったところに、PR などに行ってみたいと思っています。インハウスを持っているとは思いますが、彼らの社員に資格を取れとなっているかどうかですが。JR、民鉄、電力、ガス、高速道路などはどうでしょうか？相対的には人材がまだいて恵まれていると思いますが。資金的にも。現在、首都高と阪高が技術提携をしていて、仲が悪かった以前では考えられない事となっているがどうでしょうか？

→（森企画部会部会長から）発注者も資格をとってもらうのがいいと思います。技術的なことで意思疎通ができるようになり、コミュニケーションとなるから。診断士をとって診断士会に入っていたければ、なお良いです。

#### （小野副会長から）

本日、前川会長が出席されて意見交換ができて凄い成果となりました。

各地整を回って診断士を PR して頂くとのことで、私が診断士を取得して 23 年になりますが、非常に大きな成果だと思っています。今までジレンマで課題でした。この診断士が世の中で、社会的位置づけが低い、と感じていました。なぜこんなに価値が低いのかと。RCCMと同じレベルで考えられているからです。内容が違うのだということを今だに周知されていない。一つの原因は国家資格でないということが大きな理由であることだと思うのですが、そうは言っても構造物を診断する、医者でいう診断行為ができるという資格がなぜここまで普及しないのかと、社会的位置づけが低いと、持っている価値が無いと。私は技術士ですが、それがないと仕事ができないということが診断士にはないところでジレンマです。前川会長が各地整を回って P R していただけるというのは大変嬉しいです。成果を期待しています。宜しくお願い致します。

## 当日の資料

別紙をご参照ください。

# 令和 6 年（2024 年）第 3 回理事会（11 月 1 日）

## 次 第

日本コンクリート工学会 会議室 11 階「第 5 会議室」（変更あり）13：00～17：00

1、橘高会長挨拶

2、議事内容

（1）2024 年度の各部会の上半期の事業実績および下半期の活動計画について

【総務部会】 竹内祥一 総務部会部会長

- 1、2024 年度総務部会の上半期事業実績
- 2、2024 年度総務部会の下半期活動計画
- 3、2025 年度（第 16 回）定時社員総会の実施について

【企画部会】 森直生 企画部会部会長

- 1、令和 6 年度 企画部会の上半期の事業実績
- 2、令和 6 年度 企画部会の下半期の活動計画

【財務部会】 井田豊 財務部会部会長

- 1、上半期の事業実績
- 2、財務の現況と収支予測について
- 3、下半期の事業計画

【技術部会】 古川博人 技術部会部会長

- 1、令和 6 年度 技術部会の上半期の事業実績
- 2、令和 6 年度 技術部会の下半期の事業計画

【広報部会】 天野智雄 広報部会部会長

- 1、2024 年度 広報部会の上半期の事業実績
- 2、2024 年度 広報部会の下半期の予定

【会員部会】 奈良裕 会員部会部会長

- 1、会員部会 2024 年度 上半期活動報告
- 2、会員部会 2024 年度 下半期活動計画

【JCD 事務局】 齋田浩之

- 1、会員証の発行について
- 2、日本コンクリート診断士会の新ホームページについて
- 3、年次発表会について（技術部会と連携）
- 4、かわら版について

## 令和 6 年（2024 年）第 3 回理事会（11 月 1 日）

5、2025 年度の定時社員総会について（総務部会と連携 総務部会資料参照）

6、2024 年度第 4 回理事会（12 月 Zoom 開催）について

7、その他

-----休憩（15 分程度）-----

（3）JCI 前川会長と JCD の意見交換会 16：00～の予定

【橘高会長挨拶】

【事務局齋田から】

・ JCD の現状の会員数（参考資料参照）

各地区（1471 名）

法人会員（47 名）

直接会員（81 名+13 名）

・ 活動内容（総会、理事会、部会長会議、業務体験発表会、かわら版の配信）

【前川会長から】

【意見交換会（フリートーク形式で）】

（4）交流会

【時間】 17：30～19：30（2 時間制）

【場所】 ダイヤモンドホテル 1F 「プルメリア」

【会費】 3,900 円

【部会長会議資料】

**総務部会 2024 年度上半期事業実績・2024 年度下半期活動計画**

日本コンクリート診断士会  
総務部会 部会長 竹内 祥一

**1. 2024 年度総務部会の上半期事業実績**

- (1) 2024 年度（第 15 回）定時社員総会をハイブリッドにより実施  
場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）  
日時：2024 年 5 月 24 日（金）13:15～14:10
- (2) 定時総会終了後に(1)会員数等報告(2)各地区コンクリート診断士会の活動報告を実施  
場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）  
日時：2024 年 5 月 24 日（金）14:10～15:20
- (3) 定時総会、各種報告終了後に特別講演会を実施  
場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）  
日時：2024 年 5 月 24 日（金）15:30～16:30  
講師：中部道路メンテナンスセンター 山田 光希 様  
講演内容：道路メンテナンスを巡る最近の話題
- (4) 定款・細則・内規の内容の確認と改定の検討
- (5) 事務局運営のフォロー

**2. 2024 年度総務部会の下半期活動計画**

- (1) 2025 年度（第 16 回）定時社員総会の計画
- (2) 定款・細則・内規について必要に応じて検討
- (3) 事務局運営のフォロー

**3. 2025 年度（第 16 回）定時社員総会の実施について**

- (1) 第 16 回定時社員総会は以下のとおり開催したい  
日 時：2025 年 5 月 23 日金曜日 13:15～14:10（受付 13:00 から開始）  
場 所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）  
開催方法：ハイブリッドによる開催（ZOOM により会員に配信する）  
会場での参加を基本とし、来場できない会員は委任状により決議をとる
- (2) 報告について以下の通り実施したい
  - 1) 会員数等報
  - 2) 各地区コンクリート診断士会の活動報告
- (3) 特別講演について以下の通り実施したい  
講師（案）：公益社団法人日本コンクリート工学会 副会長  
岐阜大学 特任教授 内田裕市 様



東海国立  
大学機構



岐阜大学

R6.5.31

特任教授 内田裕市 博士(工学)

国立大学法人 岐阜大学  
東海国立大学機構

工学部 社会基盤工学科

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

Tel 058-293-2406

E-mail : uchida.yuichi.x2@a.gifu-u.ac.jp



写真-4 開会式：活動状況報告（内田裕市副会長）

## 令和6年度上半期の事業実績と下半期の活動計画

日本コンクリート診断士会  
企画部会 部会長 森 直生

### 1. 令和6年度 企画部会の上半期の事業実績

- (1) 令和6年度第3回理事会の開催（令和6年11月1日）
- (2) 日本コンクリート工学会との意見交換会の開催（令和6年11月1日）
- (3) 他部会の事業のサポートとブラッシュアップの提案

### 2. 令和6年度 企画部会の下半期の活動計画

- (1) 令和6年度第6回部理事会の開催（令和7年3月を予定）
- (2) 日本コンクリート工学会との意見交換会の開催（令和7年3月を予定）
- (3) 他部会の事業のサポートとブラッシュアップ

令和6年11月1日

2024年度 第3回JCD理事会  
財務部資料

担当 井田 豊

1. 上半期の事業実績

・9月末時点における財務状況を把握するために、総勘定元帳等の資料を確認し、中間決算を行った。

2. 財務の現況と収支予測について

| 収入     |           | 10月以降予定   |
|--------|-----------|-----------|
| 前年度繰越金 | 4,445,272 |           |
| 会費     | 2,643,000 |           |
| 雑収入    | 483,671   |           |
| 業務発表会  | 483,500   |           |
| その他    | 171       |           |
| 合 計    |           | 0         |
|        |           |           |
| 支出     |           |           |
| 事務所費   | 916,500   | 620,000   |
| 行事費    | 94,460    | 700,000   |
| 活動費    | 34,800    | 30,000    |
| 役員交通費  | 681,794   | 1,000,000 |
| その他    | 270,125   | 100,000   |
| 合 計    |           | 2,450,000 |

2024年9月末時点の繰越金 5,574,264 円

次年度への繰越金予測 3,124,264 円

3. 下半期の事業計画

- ・業務体験発表会の収支確認
- ・2月末現在の収支を確認し、本年度の最終的な収支予測を行う。
- ・4月下旬に決算資料を精査し、監査を受ける。

以上

## 令和6年度上半期の事業実績と下半期の活動計画

日本コンクリート診断士会  
技術部会 部会長 古川博人

### 1. 令和6年度 技術部会の上半期の事業実績

#### (1) 2024年次大会（青森）の開催準備

青森県コンクリート診断士会との調整（ほぼ奈良理事が段取りした）  
発表者の募集、人数調整（保有技術1題、業務体験1題の辞退をお願いした）  
優秀発表の評価方法の検討  
プログラム（時間割、発表順等）および報文集はJCD事務局にて作成した。

#### (2) 2024年次大会（青森）の開催（令和6年10月10日：青森県）

保有技術発表4題、業務体験発表11題（対面とWeb配信のハイブリッド方式）  
司会および講評は、奥村理事と古川理事で分担した。  
発表会後に交流会、翌日に現場見学会を青森県コンクリート診断士会主催で開催した。  
次回2025年開催は島根県で内諾を得ている。

### 2. 令和6年度 技術部会の下半期の事業計画

#### (1) 2024年次大会（青森）の活動報告（「コンクリート工学」への投稿）

- ・開催レポートを作成し投稿する。
- ・優秀業務体験発表3題について投稿の促しを行う。

#### (2) 技術情報収集と提供

学会、JCIなどの主なトピックスや最新技術情報を収集し、有用な情報をメールかわら版およびHPにて会員へ情報提供する。また、各地区診断士会から技術情報を募集収集し、その紹介を行う。これらは、事務局および広報部会と連携して実施する。

#### (3) 技術的問い合わせ対応

技術的問い合わせがあった場合には、内容を確認し、該当する地域に近い地区診断士会と連携し対応に当たる。これらは、事務局と連携して実施する。

#### (4) 地区診断士会への講師派遣等の支援

地区診断士会等からの研修会・講演会等の支援要請に対して、講師の紹介や、適任者の選定派遣、資料紹介等を行う。これらは、事務局と連携して実施する。

以上

2024 年 11 月 01 日

【2024 年度第 3 回理事会 資料】

## 2024年度上半期の事業実績と下半期の活動計画

日本コンクリート診断士会  
広報部会 部会長 天野 智雄

### 1. 2024年度 広報部会の上半期の事業実績

- (1) かわら版の作成 (2023年4月・7月)
- (2) HPの更新
- (3) JCI年次大会でのパンフレット配布  
今回は、診断セミナーが単独開催にて、100部程度のみの配布となった
- (4) 展示会での名刺配布

### 2. 2024年度 広報部会の下半期の予定

- (1) かわら版の発行  
2024年11月・1月
- (2) HPの更新
- (3) JCI年次大会でのパンフレット配布効果の検証

| No. | 発行予定日                  | 項目        | 原稿依頼先  | 内 容            |
|-----|------------------------|-----------|--------|----------------|
| 27  | 2023/1/10              | 巻頭言       | 会 長    | 年頭挨拶           |
|     |                        | 地区の会 活動紹介 | 島 根    |                |
|     |                        | 新技術紹介     |        |                |
|     |                        | その他       | 小野副会長  | 構造物診断セミナーについて  |
|     |                        | その他       | 東海診断士会 | JCD年次発表会報告     |
| 28  | 2023/4/20              | 巻頭言       | 総務部会長  | 総会案内について       |
|     |                        | 地区の会 活動紹介 | 東 京    |                |
|     |                        | 新技術紹介     |        |                |
|     |                        | その他       |        | JCI意見交換会報告     |
| 29  | 2023/7/15              | 巻頭言       | 副会長    | 総会報告について       |
|     |                        | 地区の会 活動紹介 | 石 川    |                |
|     |                        | 新技術紹介     |        |                |
|     |                        | その他       |        | JCD年次発表会募集     |
| 30  | 2023/10/15<br>→10/27変更 | 巻頭言       | 技術部会長  | JCD年次発表会案内について |
|     |                        | 地区の会 活動紹介 | 大 分    |                |
|     |                        | 新技術紹介     |        |                |
|     |                        | その他       |        | JCD年次発表会案内     |
| 31  | 2024/1/15<br>→2/10変更   | 巻頭言       | 会長     | 年頭挨拶           |
|     |                        | 地区の会 活動紹介 | 青 森    |                |
|     |                        | 新技術紹介     |        |                |
|     |                        | その他       | 新潟診断士会 | JCD年次発表会報告     |
| 32  | 2024/4/15              | 巻頭言       | 総務部会長  | 総会案内について       |
|     |                        | 地区の会 活動紹介 | 静 岡    |                |
|     |                        | 新技術紹介     |        |                |
|     |                        | その他       |        | JCI意見交換会報告     |
| 33  | 2024/7/15              | 巻頭言       | 副会長    | 総会報告について       |
|     |                        | 地区の会 活動紹介 | 高 知    |                |
|     |                        | 新技術紹介     |        |                |
|     |                        | その他       |        | JCD年次発表会募集     |
| 34  | 2024/10/15<br>→11/15   | 巻頭言       | 技術部会長  | JCD年次発表会報告     |
|     |                        | 地区の会 活動紹介 | 京 滋    |                |
|     |                        | 新技術紹介     |        |                |
|     |                        | その他       |        | JCD年次発表会優秀者発表  |
| 35  | 2025/1/15              | 巻頭言       | 会長     | 年頭挨拶           |
|     |                        | 地区の会 活動紹介 | 新 潟    |                |
|     |                        | 新技術紹介     |        |                |
|     |                        | その他       | 青森？    | JCD年次発表会報告     |

## 日本コンクリート診断士会 理事会での会員部会からの報告

### 1) 会員部会 2024 年度 上半期活動報告及び下半期活動計画

#### (上半期活動報告)

- ・各地区の診断士会への加入のための PR 活動の支援  
法人会員の加入促進のための PR 活動

JCI 年次大会において、日本コンクリート診断士会のパンフレットを配布しました。

各地区診断士会への診断士の加入のための PR 活動の支援と法人会員の加入促進のための PR 活動の支援を図る意味で 2024. 6. 26 開催の日本コンクリート工学会 JCI のコンクリート工学年次大会 2024 (松山) で、JCD のパンフレットを配布しました。

しかしながら、500 部のパンフレットを用意しましたが、構造物診断セミナーの参加者が 201 名と非常に少なかったために、大部分のパンフレットが余り、次回使用することにしました。

- ・法人会員の登録可能人数の上限に満たない法人会員への PR 活動

メールにて、お願いの文書を配布しました。

- ・未加入の地区診断士会の加入促進活動

加入していない地区への PR として、パンフレットと橘高会長の JCD 入会のメリットを記載した文書を、入会していない地区診断士会へ送付した。

#### (下半期活動計画)

- ・「法人会員の登録可能人数の上限に満たない法人会員への PR 活動」として、再度下半期にお願いのメールを差し上げることにしたい。

- ・未加入の地区診断士会の加入促進活動として、かわら版を未加入の地区診断士会へ送付することにしたい。

以上

JCI2025（盛岡）コンクリート構造物診断セミナー（案）

| 定時刻                 | 暫定時間 | 項目                       | 内容                                                                                                             | 担当                       | 検討事項                          |
|---------------------|------|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------------------------------|
| 10:00<br>～<br>10:05 | 5 分  | オープニング映像<br>流れる<br>(5 分) | 動画 1（岩手県建設業協会）<br>動画 2（梯団除雪）<br>開会宣言とオープニング映像の説明                                                               | 山岸<br>樋本<br>渡邊<br>(全体進行) | 編集作業必要？                       |
| ～<br>10:20          | 15 分 | 開会挨拶<br>(15 分)           | 趣旨説明と話題提供<br>(凍結抑制剤，飛来塩分，凍結融解，人口減少)                                                                            | 徳重                       |                               |
| ～<br>10:25          | 5 分  | 点検困難な部材の事例と解決策<br>(45 分) | このセッションの内容説明<br>・点検困難箇所&新技術(案)_ver2<br>佐藤資料 1 枚目？<br>・橋梁点検での点検困難箇所について<br>・点検困難なところを新技術で解決！！管理者に関わらず適応可能な技術である | 樋本(セッション<br>チェア)         | 樋本幹事と佐藤委員の分担？                 |
| ～<br>10:35          | 10 分 |                          | ・点検困難箇所&新技術(案)_ver2<br>佐藤資料（事例⑤は後で）<br>・聴講者に「点検困難」とか「こまったこと」とか何かありますか？等の振り                                     | 佐藤                       | 佐藤委員がフルハーネス姿で登壇し、点検の困難さをアピール？ |
| ～<br>10:40          | 5 分  |                          | 事例①（小口径管渠：土木）<br>・3D モデリングによる構造物調査方法(案)_結城資料<br>日本メンテ河川・樋管 video<br>樋門 video                                   | 結城                       | 資料準備                          |
| ～<br>10:45          | 5 分  |                          | 事例②（小口径管渠：建築）<br>建築の基礎杭（プレキャスト）                                                                                | 山岸                       | 資料準備                          |
| ～<br>10:50          | 5 分  |                          | 事例③（橋梁狹隘部）<br>国交省の新技術活用例                                                                                       | 千葉                       | 佐藤委員資料との重複確認                  |
| ～<br>10:55          | 5 分  |                          | 事例④（塩化物イオン浸透）<br>NaCl by 蛍光 X 線                                                                                | おもて<br>面氏                | 山岸打診（検討中）                     |
| ～<br>11:00          | 5 分  |                          | 事例⑤NEXCO の点検技術<br>・点検困難箇所&新技術(案)_ver2<br>佐藤資料（事例⑤）                                                             | 佐藤                       |                               |
| ～                   | 5 分  |                          | 事例⑥ 建築で何かあれば                                                                                                   |                          | 徳重⇒秋田県立大に                     |

|            |      |                              |                                                                                                  |                    |                                                                                                            |
|------------|------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11:05      |      |                              |                                                                                                  |                    | ヒアリング                                                                                                      |
| ～<br>11:15 | 10 分 | ブレイク<br>タイム<br>(時間調<br>整代)   | ・会場参加型クイズ (渡邊資料)<br>・紙の両面 (青/赤) : 2 択方式<br>・全問正解者は拍手で讃える<br>(賞品等はなし)                             | 渡邊                 | 紙ではなく「うちわ」<br>を作るか？<br> |
| ～<br>11:25 | 10 分 | 産官学民<br>による力                 | 山形県コンクリート診断士会の<br>取り組み例 (産学官連携)                                                                  | 千葉                 | 資料準備                                                                                                       |
| ～<br>11:35 | 10 分 | の結集<br>(30 分)                | 勝部宏明先生 (黒川高校 環境<br>技術科 教諭)「高校生が地元の<br>橋りょうを守る」土木学会誌<br>2023 年 10 月号 pp.54-55 (武<br>田幹事長の学院大の同級生) | 勝部先生<br>(山岸)       | 遠隔やオンデマン<br>ド, 代打の教諭など<br>でも前向きに検討中                                                                        |
| ～<br>11:45 | 10 分 |                              | 「八工大 橋梁メンテナンス体<br>験施設に関する報告」                                                                     | (株)キタコ<br>ン<br>藤田氏 |                                                                                                            |
| ～<br>11:50 | 5 分  | クロージ<br>ング映像<br>流れる<br>(5 分) | 雪にも石にも負けない石割桜                                                                                    |                    | 徳重⇒小山田先生⇒<br>岩手県観光協会、盛<br>岡市に打診: JCI か<br>ら打診中 (倉持さん)                                                      |
|            |      |                              | 閉会挨拶<br>コンクリートの未来と後進への<br>メッセージ                                                                  | 樋本                 |                                                                                                            |

コンクリート工学年次大会2025（盛岡）実行委員会名簿

| 部会名   | 役職     | 氏名           | 所属                   |
|-------|--------|--------------|----------------------|
| 実行委員会 | 実行委員長  | 石川 雅美        | 東北学院大学               |
|       | 実行副委員長 | 月永 洋一        | 八戸工業大学 名誉教授          |
|       | 幹事長    | 武田 三弘        | 東北学院大学               |
| 総務部会  | 部会長    | 小山田 哲也       | 岩手大学                 |
|       | 幹事     | 遠 剛男         | 東北工業大学               |
|       | 委員     | 金 貴之         | (株)復建技術コンサルタント       |
|       |        | 井須 勝         | 東日本高速道路(株)盛岡         |
|       |        | 佐々木 孝充       | 岩手県土木技術振興協会          |
|       |        | 河田 豊         | 岩手県生コンクリート工業組合       |
|       |        | 大沢 衛         | 共和コンクリート工業(株)        |
|       |        | 菊池 亜         | 菱和建設(株)              |
|       |        | 遊田 勝         | (株)土木技研              |
|       |        | 千葉 一弘        | (株)復建技術コンサルタント 構造技術部 |
|       |        | 小田島 悠弥       | (株)復建技術コンサルタント 構造技術部 |
|       |        |              |                      |
|       |        |              |                      |
| 構造部会  | 部会長    | 皆川 清         | 東北大学大学院              |
|       | 幹事     | 大庭 英男        | 東北大学大学院              |
|       | 委員     | 飯土井 剛        | (株)復建技術コンサルタント 構造技術部 |
|       |        | 石川 和也        | 東北電力(株)土木建築部         |
|       |        | 石橋 寛樹        | 日本大学 工学部 土木工学科       |
|       |        | 石山 智         | 秋田県立大学システム科学技術学部     |
|       |        | 蓮上 茂樹        | 東北大学                 |
|       |        | 何 明晃         | 東北大学                 |
|       |        | 上原子 昌久       | 弘前大学 理工学部            |
|       |        | 子田 康弘        | 日本大学工学部土木工学科         |
|       |        | 梅代 由範        | 仙台高等専門学校 総合工学科       |
|       |        | 松井 真入        | 中津川コンクリート工業(株) 盛岡支店  |
|       |        | 島村 裕則        | 八戸工業大学               |
|       |        | 相馬 悠人        | 青森工業大学 総合システム工学部     |
|       |        | 高橋 英之        | 東北大学                 |
|       |        | Sanjay PAREE | 日本大学工学部 建築学科         |
|       |        | 飯藤 将之        | 仙台高等専門学校 総合工学科       |
|       |        | 船木 尚己        | 東北工業大学 建築学部建築学科      |
|       |        | 前島 拓         | 日本大学 工学部             |
|       |        | 前田 匡樹        | 東北大学大学院              |
|       |        | 宮本 慎太郎       | 東北大学                 |
|       |        | 山家 晋生        | 東北電力(株)土木建築部         |
|       | 部会長    | 岩城 一郎        | 日本大学                 |
|       | 幹事     | 高橋 俊克        | 日本大学                 |
|       | 委員     | 石戸 谷勉        | 秋田県生コンクリート工業組合       |
|       |        | 磯上 秀一        | 福島県生コンクリート工業組合       |
|       |        | 大森 真由美       | 山形県生コンクリート工業組合       |
|       |        | 蓋谷 勉哉        | 太平洋セメント(株)東北支店       |
|       |        | 白井 茂         | 宮城県生コンクリート工業組合       |
|       |        | 奈良 裕         | 青森県コンクリート診断士会        |
|       |        | 河田 豊         | 岩手県生コンクリート工業組合       |
|       |        | 山本 覚         | 青森県生コンクリート工業組合       |
|       |        |              |                      |

|                   |     |        |                    |
|-------------------|-----|--------|--------------------|
| テクノプラザ部会          | 部会長 | 小出 英夫  | 東北工業大学             |
|                   | 幹事  | 菊田 真恒  | 東北工業大学             |
|                   |     | 千葉 尚英  | カイハツ産業(株)          |
|                   |     | 足田 雅人  | UBE三鉄セメント(株)東北支店   |
|                   | 委員  | 石橋 勇   | (株)復建技術コンサルタント     |
|                   |     | 後藤 啓   | ボゾリスソリューションズ(株)    |
|                   |     | 後藤 瑞樹  | 日鉄スラグ製品(株)         |
|                   |     | 澤田 浩昭  | オリエンタル白石(株)        |
|                   |     | 高橋 紗希子 | 東日本旅客鉄道(株)         |
|                   |     | 高橋 良太  | 飛鳥建設(株)            |
|                   |     | 新田 裕之  | 東北コンクリート製品協会       |
|                   |     | 早木 富   | 東日本高速道路(株)         |
|                   |     | 福田 良介  | 国土交通省東北地方整備局       |
|                   |     | 渡辺 雅隆  | 若泉建設(株)            |
| 事業部会              | 部会長 | 阿波 裕   | 八戸工業大学             |
|                   | 幹事  | 菅野 秀人  | 秋田県立大学             |
|                   | 委員  | 奈良 裕   | 青森県コンクリート診断士会      |
|                   |     | 大西 弘志  | 岩手大学               |
|                   |     | 寺本 尚史  | 秋田工業高等専門学校         |
|                   |     | 山岸 樹司  | 八戸工業大学             |
|                   |     | 大塚 圭子  | 秋田県立大学             |
|                   |     | 鈴木 勝治  | (株)復建技術コンサルタント     |
|                   |     | 西村 元男  | 鹿島建設(株)            |
|                   |     | 斎藤 薫   | 上北建設(株)            |
|                   |     | 淡 信之   | ホクエツ(株)            |
|                   |     | 三井 功如  | 西松建設(株)            |
|                   |     | 山口 泰史  | ショーボンド建設(株)        |
|                   |     | 金平 修祐  | 岩手県土地改良事業団体連合会     |
|                   |     | 葛西 弘典  | (株)日本ビーエス          |
|                   |     |        |                    |
|                   |     |        |                    |
| コンクリート構造物診断セミナー部会 | 部会長 | 柳重 英信  | 秋田大学               |
|                   | 幹事  | 渡邊 弘子  | 月の泉技術士事務所          |
|                   |     | 樋本 智   | 東日本高速道路(株)東北支社     |
|                   | 委員  | 松川 欣司  | 仙台コンクリート試験センター(株)  |
|                   |     | 千葉 陽子  | 山形県立産業技術短期大学校      |
|                   |     | 佐藤 政志  | (株)ネクスコ・エンジニアリング東北 |
|                   |     | 橋本 康弘  | 日本メンテ(株)           |
|                   |     | 山岸 邦彦  | (株)丸本組             |
|                   |     | 奈良 裕   | 青森県コンクリート診断士会      |
|                   |     |        |                    |
|                   |     |        |                    |
| キングオブコンクリート       | 部会長 | 西脇 智哉  | 東北大学大学院            |
|                   | 幹事  | 野口 巧巳  | 八戸工業大学             |
|                   | 委員  | 大塚 圭子  | 秋田県立大学             |
|                   |     | 菅野 秀人  | 秋田県立大学             |
|                   |     | 遠川 真之  | 日本大学               |
|                   |     | 内藤 英樹  | 東北大学               |
|                   |     | 高橋 典之  | 東北大学               |
|                   |     | 山家 晋生  | 東北電力               |
|                   |     | 鈴木 宏武  | 宮城県工組              |
|                   |     | 渡辺 ゆかり | 宮城県工組              |
|                   |     | 千葉 兼大  | 宮城県工組              |
|                   |     | 佐藤 陽介  | 岩手県工組              |
|                   |     | 杉本 悠真  | 岩手大学               |

【部会長会議資料】

JCD 事務局より

JCD 事務局長 齋田浩之

1、会員証の発行について

- ・2024 年 7 月に会員証を発行しております。

ホームページアドレス、メールアドレス入り、QR コード入り

- ・毎年 7 月くらいの発行になりそうです。

- ・2024 年度は、76 枚発行しています。

2、日本コンクリート診断士会の新ホームページ（新 HP）について

新 HP は、現在運用しています。

各地区診断士会の情報があれば HP にアップしている状況です。

便利に活用して頂きたいと思います。

ID : jcd0337

Pass : jcd192723

3、年次大会について（技術部会と連携）

【課題 1】

JCD2024 年次大会（青森大会）の報文提出が遅く（9 月 20 日期限）、報文集作成が遅れた。また、今回もメール送付エラーなど（迷惑メールへ入っていた）があり、発表者（業務体験発表者）が 11 名となりプログラムを変更した。今後は、発表者の応募を **Google フォーム**にしたい。

【課題解決策 1】

参加申込も Google フォームの 1 本にする。

【課題 2】

今回、年次大会会場にネット環境がないことが開催直前にわかり、事務局でポケット Wifi を準備して対応した。

【課題解決 2】

年次大会会場のネット環境があるかどうかを開催する地区診断士会事務局様は確実に確認する。

（今後の対応についてのお願い）

- 1) 発表者については、今回のように期限内であれば、すべて採用して（発表者数

に満たない場合) 発表者数を超えている場合は、技術部会で検討する。

- 2) 申込み期限を超えての申込みは、技術部会で決定したことを明確にすること。
- 3) 不採用の場合についても、技術部会で決定したことを明確にすること。
- 4) 各地区診断士会からの推薦やお願いがあるのであれば、期限前に申込みをして欲しい。
- 5) 年次大会参加申込と年次大会発表申込は Google フォームとしたい。

【報告事項】

- ① JCD2024 年次大会について  
無事に終了しました。
- ② JCD2025 年次大会について  
開催予定表によって、「島根県コンクリート診断士会」の予定です。
- ③ JCD2026 年年次大会について  
開催予定表によって、「静岡コンクリート診断士会」の予定です。

| 開催年度 | 開催診断士会 | 地域  |
|------|--------|-----|
| 2025 | 島根県    | 中国  |
| 2026 | 静岡     | 静岡  |
| 2027 | 福井県    | 北陸  |
| 2028 | 鳥取県    | 中国  |
| 2029 | 大分県    | 九州  |
| 2030 | 富山県    | 北陸  |
| 2031 | 長野県    | 信越  |
| 2032 | 北海道    | 北海道 |
| 2033 | 京滋     | 関西  |

4、かわら版について

第 33 号は 2024 年 7 月に発行済  
第 34 号は 2024 年 11 月に発行予定（担当者へメール済）  
広報部会と連携。  
かわら版発行予定表参照。  
新技術や保有技術等の応募が少ないのが悩み。（ずーっと変わらず）

| JCDかわら版発行予定 表 |                        |           |        | 作成修正：2024.09.18 |
|---------------|------------------------|-----------|--------|-----------------|
| №             | 発行予定日                  | 項目        | 照会依頼先  | 内 容             |
| 27            | 2023/1/10              | 巻頭言       | 会 長    | 年頭挨拶            |
|               |                        | 地区の会 活動紹介 | 島 根    |                 |
|               |                        | 新技術紹介     |        |                 |
|               |                        | その他       | 小笠原会長  | 構造体診断セミナーについて   |
| 28            | 2023/4/20              | その他       | 東海診断士会 | JCD年次発表会報告      |
|               |                        | 巻頭言       | 総務部会長  | 総会案内について        |
|               |                        | 地区の会 活動紹介 | 東 京    |                 |
|               |                        | 新技術紹介     |        |                 |
| 29            | 2023/7/15              | その他       |        | JCI意見交換会報告      |
|               |                        | 巻頭言       | 副会長    | 総会報告について        |
|               |                        | 地区の会 活動紹介 | 石 川    |                 |
|               |                        | 新技術紹介     |        |                 |
| 30            | 2023/10/15<br>→10/27変更 | その他       |        | JCD年次発表会委員      |
|               |                        | 巻頭言       | 技術部会長  | JCD年次発表会案内について  |
|               |                        | 地区の会 活動紹介 | 大 分    |                 |
|               |                        | 新技術紹介     |        |                 |
| 31            | 2024/1/15<br>→2/10変更   | その他       |        | JCD年次発表会委員      |
|               |                        | 巻頭言       | 会 員    | 年頭挨拶            |
|               |                        | 地区の会 活動紹介 | 吉 野    |                 |
|               |                        | 新技術紹介     |        |                 |
| 32            | 2024/4/15              | その他       | 新潟診断士会 | JCD年次発表会報告      |
|               |                        | 巻頭言       | 総務部会長  | 総会案内について        |
|               |                        | 地区の会 活動紹介 | 静 岡    |                 |
|               |                        | 新技術紹介     |        |                 |
| 33            | 2024/7/15              | その他       |        | JCI意見交換会報告      |
|               |                        | 巻頭言       | 副会長    | 総会報告について        |
|               |                        | 地区の会 活動紹介 | 高 知    |                 |
|               |                        | 新技術紹介     |        |                 |
| 34            | 2024/10/15<br>→11/15   | その他       |        | JCD年次発表会委員      |
|               |                        | 巻頭言       | 技術部会長  | JCD年次発表会報告      |
|               |                        | 地区の会 活動紹介 | 京 滋    |                 |
|               |                        | 新技術紹介     |        |                 |
| 35            | 2025/1/15              | その他       |        | JCD年次発表会委員者発表   |
|               |                        | 巻頭言       | 会 長    | 年頭挨拶            |
|               |                        | 地区の会 活動紹介 | 新 潟    |                 |
|               |                        | 新技術紹介     |        |                 |
|               |                        | その他       | 青森？    | JCD年次発表会報告      |
|               |                        |           |        |                 |

5、2025 年度の定時社員総会について（総務部会と連携 総務部会資料参照）

以下の期日、場所で実施したい。予約してませんので、決定次第に予約します。

【名称】JCD 第 16 回定時社員総会

【主催】（一社）日本コンクリート診断士会

【開催日時】令和 7 年 5 月 23 日（金） 13：30～16：45（

【場所】ウインクあいち（愛知産業労働センター）13 階 1302 会議室（2024 年度と同じ部屋で）

【開催方法】ハイブリッドによる開催

6、2024 年度第 4 回理事会（12 月 Zoom 開催）について

日時は未定。

【開催日時】未定 10：00～12：00（予定）

以下、理事会の予定表です。

| 月                      | 令和 5 年まで                                    | 令和 6 年から                                                         |
|------------------------|---------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 5 月                    | (AM) 第 1 回理事会<br><br>(PM) 定時社員総会<br>(名古屋開催) | (AM) 第 1 回理事会 JCD 理事の全員参加<br>(費用は全額支給)<br>(PM) 定時社員総会（名古屋にて開催予定） |
| 8 月（9 月）               | 第 2 回理事会（Zoom）                              | 第 2 回理事会（Zoom）                                                   |
| 10 月<br>(2024 年は 11 月) | 第 1 回部会長会議<br>(JCI 東京開催)                    | 第 3 回理事会（名古屋か東京 JCI）<br>(費用は全額支給)<br>(2024 年度は東京 JCI にて開催)       |
| 11 月<br>(2024 年は 12 月) | 第 3 回理事会（Zoom）                              | 第 4 回理事会（Zoom）                                                   |
| 翌年 1 月<br>(翌年 2 月)     | 第 4 回理事会（Zoom）                              | 第 5 回理事会（Zoom）                                                   |
| 翌年 3 月                 | 第 2 回部会長会議<br>(JCI 東京開催)                    | 第 6 回理事会（東京 JCI）<br>(費用は全額支給)                                    |

7、その他

(1) JCD の名刺の作成

JCD をアピールするためにも、名刺があると良いのではと思います。

欲しい理事の方は、事務局齋田までお願いいたします。

2024 年度は、以下の方の名刺を作成しました。

- ・小野定副会長 ・原田隆敏副会長
- ・竹内祥一総務部会部会長 ・山川博樹企画部会副部会長
- ・井田豊財務部会部会長・奥村智洋技術部会部会長
- ・内川善生技術部会部会長・天野智雄広報部会部会長
- ・有山直孝広報部会副部会長 ・南真樹監事
- ・齋田浩之事務局長（最初にお試し作成）

## 参考資料

地区の会

2024/10/28

|        | 1   | 2  | 3   | 4   | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11  | 12 | 13  | 14  | 15 | 16 |  |       |
|--------|-----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|-----|----|----|--|-------|
|        | 福井  | 鳥取 | 島根  | 東京  | 石川 | 大分 | 青森 | 静岡 | 京滋 | 高知 | 新潟  | 長野 | 北海道 | 東海  | 宮崎 | 富山 |  |       |
| 学術     | 6   | 2  | 1   | 4   | 0  | 3  | 2  | 0  | 0  | 3  | 2   | 4  | 0   | 1   | 3  | 0  |  |       |
| 正会員    | 147 | 53 | 109 | 106 | 95 | 80 | 46 | 92 | 24 | 65 | 108 | 78 | 95  | 108 | 45 | 60 |  |       |
| 賛助会員   | 2   | 0  | 0   | 3   | 4  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 2   | 6  | 5   | 19  | 38 | 2  |  |       |
| 小計     | 155 | 55 | 110 | 113 | 99 | 83 | 48 | 92 | 25 | 68 | 112 | 88 | 100 | 128 | 86 | 62 |  | 1,424 |
|        |     |    |     |     |    |    |    |    |    |    |     |    |     |     |    |    |  |       |
| 法人     |     |    |     |     |    |    |    |    |    |    |     |    |     |     |    |    |  |       |
| 正会員SA  | 0   | 0  | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 2   | 0  | 0  |  | 2     |
| 正会員A   | 0   | 0  | 0   | 10  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0   | 3  | 1   | 0   | 0  | 0  |  | 16    |
| 正会員B   | 0   | 0  | 0   | 2   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 2   | 0   | 0  | 0  |  | 4     |
| 正会員C   | 0   | 0  | 0   | 10  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0   | 0  | 0  |  | 10    |
| 賛助会員SA | 0   | 0  | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 3   | 0  | 0  |  | 3     |
| 賛助会員A  | 0   | 0  | 0   | 2   | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0   | 2  | 1   | 0   | 0  | 0  |  | 6     |
| 賛助会員B  | 0   | 0  | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 1   | 1   | 0  | 0  |  | 2     |
| 賛助会員C  | 0   | 0  | 0   | 4   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0   | 0  | 0  |  | 4     |
| 小計     | 0   | 0  | 0   | 28  | 0  | 1  | 1  | 0  | 1  | 0  | 0   | 5  | 5   | 6   | 0  | 0  |  | 47    |
|        |     |    |     |     |    |    |    |    |    |    |     |    |     |     |    |    |  |       |
| 合計     | 155 | 55 | 110 | 141 | 99 | 84 | 49 | 92 | 26 | 68 | 112 | 93 | 105 | 134 | 86 | 62 |  | 1,471 |
| 地区に確認  | ○   | ○  | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○   | ○   | ○  | ○  |  |       |

法人→個人

2024/10/28

|      | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6   | 7  |    |  |
|------|----|----|----|----|----|-----|----|----|--|
|      | 東京 | 大分 | 青森 | 京滋 | 長野 | 北海道 | 東海 | 合計 |  |
| 正会員  | 22 | 1  | 1  | 0  | 3  | 3   | 2  | 32 |  |
| 賛助会員 | 6  | 0  | 0  | 1  | 2  | 2   | 4  | 15 |  |
|      |    |    |    |    |    |     |    |    |  |
| 計    | 28 | 1  | 1  | 1  | 5  | 5   | 6  | 47 |  |

|      |  |      |
|------|--|------|
| 法人のみ |  | 個人のみ |
| 81   |  | 13   |

2024/10/28

|       |    |    |
|-------|----|----|
| 直     | SA | 1  |
| 直     | A  | 13 |
| 直     | B  | 10 |
| 直     | C  | 54 |
| 直法人個人 | 正A | 1  |
|       | 正C | 2  |
|       |    | 81 |

|     |   |    |
|-----|---|----|
| 直個人 | 正 | 11 |
| 直個人 | 賛 | 2  |
|     |   | 13 |

## 交流会の会場 位置図



# JCI（前川会長）と JCD の意見交換会

日時：2024 年 11 月 1 日（金）16：00～17：00

JCD 事務局齋田

1、橘高会長挨拶 1 分程度

2、事務局齋田から JCD の説明 3 分程度

・ JCD の現状の会員数 合計 1612 名

各地区（1471 名）→ 16 地区（福井県・鳥取県・島根県・東京都・NPO 法人石川県・NPO 法人大分県・青森県・静岡・京滋・高知県・新潟県・長野県・北海道・東海・宮崎県・富山県）

法人会員（47 名）

JCD 直接会員（81 名 + 13 名 = 94 名）

・ 活動内容

5 月定時社員総会

5 月、8 月、10 月、11 月、翌年 1 月、翌年 3 月 理事会

→東京 J C I では、10 月（今年は 11 月）、翌年 3 月の開催予定

11 月 JCD 年次大会（各地区にて開催予定で以下参照）

| 開催年度 | 開催診断士会 | 地域  |
|------|--------|-----|
| 2025 | 島根県    | 中国  |
| 2026 | 静岡     | 静岡  |
| 2027 | 福井県    | 北陸  |
| 2028 | 鳥取県    | 中国  |
| 2029 | 大分県    | 九州  |
| 2030 | 富山県    | 北陸  |
| 2031 | 長野県    | 信越  |
| 2032 | 北海道    | 北海道 |
| 2033 | 京滋     | 関西  |

かわら版の作成と配布

年 4 回の配布（4 月 7 月 10 月 翌年 1 月）

→巻頭言、地区の会活動紹介 新技術紹介 その他 で構成しています

3、J C I（前川会長）から 10 分程度

J C I からの情報があればお願い致します。

#### 4、 J C I（前川会長）と JCD の意見交換会 45 分程度

##### （質問 1）コンクリート診断士試験制度や診断士活用を JCI はどう考えておられるのか？

→現在、コンクリート診断士試験は技術士試験より難しいといわれてきているが、入札時の資格者条件（要件）へのアプローチとかはしておられるのかどうか？  
（JCI は圧力団体ではないことは理解していますが）

→今年、静岡で仕事に直接役に立たないという理由にて、資格更新をしないで診断士会を退会された事例がありました。このままだと、同じ様な事が起きる事を懸念しております。特に、橋梁点検等の入札では診断士と RCCM が同等の扱いとなっており、コンサルタント会社は RCCM の方が資格取得が簡単なので、診断士に重点を置いていない事を聞いた事があります。

##### （質問 2）コンクリート診断士の資格更新制度（今後も e ラーニング？）

→私も以前更新をしましたが、コンクリート診断を業務で行っている方は回答が出来たと思います。診断業務をしていない方は難しいと言われていました。ペーパーの資格になってはいけないのでこれぐらいの更新問題は解けるようにとの意図があると思っていますが、もう少し簡単にならないかと。

→今後も e ラーニング実施でしょうか？もし対面実施もあり得るのであれば JCD の PR のためパンフレットの配布を許可をお願いしたい。

**(質問 3) コンクリート工学誌で「コンクリート診断士会の粋みたいなものがないで  
しょうか？(特集)」**

→JCD 年次大会の情報、各地区診断士会の情報などの粋

JCD 年次大会の情報発信としての投稿はしています。

「コンクリート工学」誌には「コンクリート診断士のページ」がありますが、  
合格者した方の診断士の活用や診断士取得して良かったことなどの投稿です  
ので、JCDの情報としては少し違うかなと思いますが。(ただし、取得した  
方にはよい情報だと思います)

→JCD 年次大会の実施の概要について「コンクリート工学」誌の情報発信コー  
ナー等に毎年報告したいので、粋を頂きたい。

**(質問 4) コンクリート診断士資格受験者が減ってきているが何か手立てはありますか？**

→従来から言われている入札時の資格者条件などにもっと活用できればと思  
います。例えば、RCCM 資格は技術士資格の補完資格みたいになっておりま  
すが、コンクリート診断士はコンクリート診断等に関しては技術士以上に価値  
があると思います。入札時の資格者条件などの活用が進めば、コンクリート  
診断士受験者が増えると考えますが。

(質問 5) コンクリート工学年次大会では、2023 年と 2024 年にコンクリート構造診断セミナーの会場で JCD のパンフレット配布を手渡しで行いました。(一社)コンクリート診断士会(JCD)をもっとアピールし入会していただけるようにと思います。なかなか入会者が少ないので、よい方策があればお願いいたします。  
→例えば診断士合格者には郵送される封筒に JCD への入会案内を入れることはできないでしょうか？

確か、コンクリート工学会への入会案内は入っていたと記憶していますが。

(JCD はあくまでプラットフォームであり情報共有の場として活用できます)

→日本コンクリート診断士会に診断士の方を加入させたいと思っても、診断士の方々の名簿は個人情報規制法により、開示できないと聞いておりますので、日本コンクリート診断士会の PR が出来ないでおります。そこで、診断士に合格された方々に、JIC から郵便物を送付する際に、日本コンクリート診断士会のパンフレットなどを一緒に送付できないかどうかをお聞きしたい。

→パンフレットを配布させて頂けるのは大変ありがたい事ですが、現状、全て手弁当での参加となっております。せめて、大会への参加について数名 JCI から招待頂けると費用負担が楽になり、助かると思います。

→パンフレットの配布は、毎年恒例行事としたいが。

(質問 6) コンクリート診断士だけではないのですが、コンクリート工学会の講習などに参加した場合の CPD の申請が面倒です。CPD に自身で記入して郵送となっています。なんとか簡単になりませんか？

→郵送しなくても良いシステムとなりませんか？

(資料 1) 質問 2 の資料

2021 年度コンクリート診断士研修  
自己学習用課題提出用の解答用紙

自己学習課題は、以下各項目の 3 点を準備しております。全ての課題を提出していただく必要があり、1 つでも不足した場合は登録更新できませんのでご注意ください。

1. 自己学習用課題①:「コンクリート診断技術」の主な変更点の確認と理解度確認テスト

テキストの熟読および e ラーニングコンテンツを視聴いただき、理解度確認テストの実施と解答用紙を提出してください。

2. 自己学習用課題②: 演習問題への解答

e ラーニングコンテンツを視聴いただき、演習問題の解答用紙を提出してください。

3. 自己学習用課題③: 診断業務にかかわる報告書の提出

次の a), b), c) いずれかひとつのテーマを選んで、A4 版の用紙に 2 ページ (2000 字程度、図・表・写真を含む) にまとめてください。ページ数の超過や極端な文字数の不足は認められません。また、提出後に委員会から再提出を求める場合があること、あらかじめご了承ください。

【テーマ】

- a) コンクリートの点検・診断・補修補強に関する実務経験
- b) 居住地域等で見かけるコンクリート構造物の調査報告
- c) 2017 年から 2021 年に参加した診断技術に関する講習会やシンポジウムの技術内容

[提出方法]

次ページ以降の解答用紙に記入し、同封の返信用封筒 (簡易書留) により下記宛てに送付してください。課題の提出をもって、更新登録手続きが完了となります。

[提出先]

〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル 12 階  
公益社団法人 日本コンクリート工学会 コンクリート診断士研修担当

[提出期限]

2021 年 10 月 29 日 (金) (消印有効)

# (一社)日本コンクリート診断士会 (JCD) 2023 年度保有技術および業務体験発表会 「2023 新潟大会」の報告

古 川 博 人\*

## 1. 日本コンクリート診断士会年次発表会

(一社)日本コンクリート診断士会 (Japan Society of Concrete Diagnosis and Maintenance Engineers, 以下 JCD) では、法人会員による「保有技術発表会」と個人会員による「業務体験発表会」を毎年開催しております。本文では 2023 年 11 月に開催されました新潟大会について報告します。次回は 2024 年 10 月に青森大会を予定しています。

## 2. 2023 年度「2023 新潟大会」の報告

2023 年 11 月 10 日 (金) 新潟市の新潟グランドホテルにて、対面とオンラインにて開催しました。表-1 および

表-2 にそれぞれの発表題目と発表者を示し、以下にその概要を紹介しします。なお、発表会資料は JCD ホームページの会員専用ページにて共有されています。

### 2.1 保有技術発表会

題目 1 では、ひび割れの変位量を簡易に遠隔モニタリングする装置について紹介しました。この検知器は、センサーと内蔵バッテリー、通信装置が一体となっており誰でも簡単に出来ます。アナログ計測では断片的データになりますが、連続データを遠隔で得られることで、ひび割れの季節変動や遊間変位などが明確な結果として示されます。変状の原因推定や監視ツールとしての活用も期待されます。

題目 2 では、コンクリート中の塩化物量を測定する方

表-1 第 6 回保有技術発表会の題目と発表者

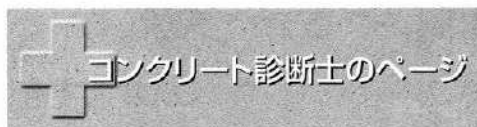
|   | 題 目                                                    | 発表者              | 所 属                       |
|---|--------------------------------------------------------|------------------|---------------------------|
| 1 | ワイヤレス壁面クラック変化検知器を用いたひび割れモニタリングについて                     | 松山 雄紀<br>※Web 発表 | ㈱土木管理総合試験所                |
| 2 | 携帯型蛍光 X 線分析装置を使用した硬化コンクリートの塩化物量の測定の事例と弊社の今後の調査業務への取り組み | 佐藤 幸作            | 診断技術㈱                     |
| 3 | コンクリートの表面組織に影響する剥離剤の効果について                             | 成田 喜貴            | 共和コンクリート工業㈱<br>技術研究所      |
| 4 | ACRAC 広報資料                                             | 柴谷 啓一            | ACRAC (再生骨材コンクリート普及連絡協議会) |

表-2 第 10 回業務体験発表会の題目と発表者

|    | 題 目                              | 発表者    | 所 属 |
|----|----------------------------------|--------|-----|
| 1  | 接着工(落石対策工)を活用した玉石積擁壁補修の施工事例      | 森本 翔太郎 | 東海  |
| 2  | 沈下橋に生じたひび割れの原因推定と対策              | 田所 良太  | 高知  |
| 3  | 塩害による損傷を受けた PC 桁の調査、補修           | 小川 篤   | 新潟  |
| 4  | 鋼製橋梁における支承取替工事の施工実例について          | 安部 勉   | 大分  |
| 5  | 非破壊調査を用いた多径間単純橋における床版劣化状況の判定及び傾向 | 井関 昌史  | 新潟  |
| 6  | 50 m 橋台におけるひび割れ抑制                | 下村 昭司  | 高知  |
| 7  | 皆さん勘違い 無収縮モルタルの使用にはご注意ください       | 中村 博之  | 新潟  |
| 8  | 地方自治体が管理する RC 単床版橋の補修方針検討        | 浅田 渉   | 新潟  |
| 9  | 道路施設データベースについて                   | 白井 裕喜  | 福井  |
| 10 | 飯桁橋における塗替え塗装時の塗膜処分について           | 宮本 新   | 新潟  |

\* ふるかわ・ひとと／(一社)日本コンクリート診断士会 技術部会長、  
石川県コンクリート診断士会 (正会員)

## (資料2) 質問3の資料2



## 九州支部

“あと施工による開口部”不記載への懸念

桑田 利一

ここ数年、私は直轄国道の溝橋の診断業務に従事しています。その現地検査の時に気になるのが、流末排水などの目的で設けられたあと施工による開口部です。この開口部周辺に経年劣化による構造的な影響が生じることを危惧しています。

溝橋は、河川や水路の空間確保の目的で構築されることが多いため、流末排水路としてよく利用されています。道路拡張、バスレーンの設置など、様々な要因により排水系統が変更された結果、あと施工開口部が設けられた現場も多く存在します。

あと施工開口部は、施工方法により下記の2種類に大別できます。

- ①コア穿孔機などで部材を穿孔
- ②ブレイカーなどで部材を破碎

「①」は、切断面が滑らかなため部材への影響はほとんどありませんが、切断された鉄筋が露出するなど、かぶり不足が問題となります。一方、「②」は、部材を破碎した影響で破碎面のみならず、周囲のコンクリートも脆弱化します。また、破碎時の振動などによって鉄筋の付着力が低下することで、腐

食しやすい状況になります。

溝橋は、ラーメン部材として構造計算を行います。しかし、開口することで側壁部材との一体性が損なわれるために、構造モデルが成立しなくなる可能性があります。開口を考慮した構造計算を行う場合は、片持ち梁構造とする考えもありますが、フレーム計算で開口の影響を検討したほうが現実的だと思います。

あと施工開口部は、人為的に設けられるため損傷ではないという認識もあります。そのため、あと施工開口部が損傷図に記載されていないという事例を多数確認しています。もし、あと施工開口部に起因する事故が起きたとき、点検結果である損傷図への開口部の不記載が問題となるのは明らかです。そのため、客観的事実を記録として残し、構造的な影響が生じていない段階で予防保全的な措置を行う必要があるのではないかと常々考えています。



くわた・としかず／  
熊本野建設コンサルタント 次長

診断士を取得して

田尻 雅彦

私は、就職時に地図に残る仕事がしたい。と考え、橋梁なら橋名が地図に載ると思い平成3年に現在の会社に入社しました。今は少なくなりましたが、当時は新設橋梁の設計も年間数本ある時代で、当時橋梁は壊れない「永久構造物」と呼んでいたと思います。

コンクリート診断士は、平成20年度の試験に合格しましたが現場のことは何もわからなく、ただ資格を取っただけでした。その後、橋梁点検・補修設計を行っている会社から診断士を持っているなら点検の現場に来ないかと誘いを受け、現場を回るようになりました。

橋梁点検は3回目のサイクルとなりましたが、当時永久構造構造物と呼んでいた橋梁が、深刻なダメージを受け中には車両規制により通行できない橋梁もあり、今はその様な橋梁の補修設計にも関わっています。試験結果を基に単一的な中性化・塩害・アルカリ骨材反応等か、複数の要因による複合劣化か、施工不良による損傷なのか劣化原因を正しく判断し、適切な補修設計を行えるように技術の研鑽が必要であると痛感します。

話が変わりますが、近所をよく散歩します。歩いてアンダーパスや跨道橋（O.V）の下を通るときにひび割れ等の損傷や

補修の有無などに目が行きます。損傷があれば原因を考え、補修済みであれば補修方法はどのように選定したのかなどを見ながら歩いています（多分、診断士をお持ちの方には分かっていたかと思いますが）。

また、先輩診断士より誘いを受け平成24年より熊本県コンクリート診断士会に入会し、現在は理事（事務局）を仰せつかり微力ながら会の運営にも関わっております。

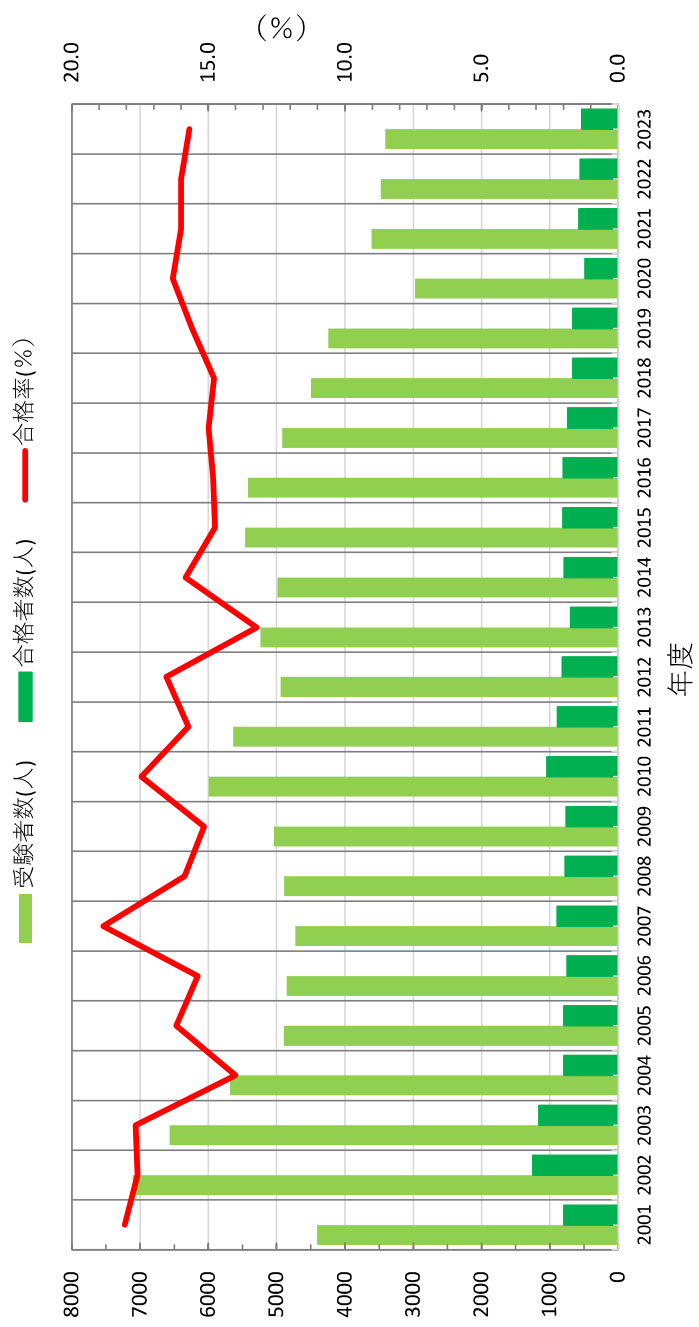
若い世代に興味を持ってもらうための活動として小学校や高校への出前講座や会員による技術講習会、現場見学会等を開催しています。興味のある方は熊本県コンクリート診断士会のHPをご覧ください。



たじり・まさひこ／正会員  
㈱ウラタ・シビル・コンサルタント  
代表取締役  
（一社）熊本県コンクリート診断士会  
理事（事務局長）

コンクリート工学

| 年 度  | 受験者数<br>(人) | 合格者数<br>(人) | 合格率<br>(%) |
|------|-------------|-------------|------------|
| 2001 | 4408        | 796         | 18.1       |
| 2002 | 7106        | 1250        | 17.6       |
| 2003 | 6570        | 1161        | 17.7       |
| 2004 | 5683        | 796         | 14.0       |
| 2005 | 4894        | 792         | 16.2       |
| 2006 | 4853        | 747         | 15.4       |
| 2007 | 4726        | 891         | 18.9       |
| 2008 | 4888        | 776         | 15.9       |
| 2009 | 5040        | 764         | 15.2       |
| 2010 | 5998        | 1047        | 17.5       |
| 2011 | 5640        | 887         | 15.7       |
| 2012 | 4945        | 818         | 16.5       |
| 2013 | 5241        | 694         | 13.2       |
| 2014 | 4990        | 790         | 15.8       |
| 2015 | 5462        | 806         | 14.8       |
| 2016 | 5422        | 804         | 14.8       |
| 2017 | 4922        | 738         | 15.0       |
| 2018 | 4496        | 665         | 14.8       |
| 2019 | 4243        | 663         | 15.6       |
| 2020 | 2973        | 484         | 16.3       |
| 2021 | 3611        | 576         | 16         |
| 2022 | 3474        | 557         | 16         |
| 2023 | 3412        | 535         | 15.7       |



図－1：年度別の受験者数、合格者数および合格率の推移